



## 01 NEWS

## 女性部手芸教室

女性部は9月24日、各地区役員17人が出席し、手芸教室を開きました。今回は雑誌「家の光」に掲載された手芸を題材に、PPバンドを使ったミニチュアバスケットづくり挑戦しました。事前に練習を重ねた生活組織部会のメンバーが先生役を務め、参加者に作り方を指導しました。

交互に編み込む工程は意外と難しく、多くの参加者が悪戦苦闘しながらも、約2時間かけて作品を完成させました。



完成を喜ぶ女性部員



## 02 NEWS

## あぐりスクール開校

10月18日、秋川ファーマーズセンターに隣接する市民農園で第7回あぐりスクールを開きました。親子に農業を楽しんでもらい自然や農業への興味、関心を高め、農家の仕事を知ってもらうことが目的です。

3家族10人が参加

し、ダイコンの間引き、ホウレンソウの種まき、ブロッコリーの害虫取り、ピーマンと長ネギの収穫を行いました。



ダイコンの間引き参加者



## 03 NEWS

## 日の出町 小学生稲刈り体験

日の出町立平井小学校の5年生55人は10月3日、同町青木農園の青木崇さんの田んぼで稲刈り体験を行いました。今年は夏の暑さの影響で、稲の生育が早まり例年より10日ほど早い収穫となりました。

日の出支店は食農教育推進の一環としてこの活動に協力し、職員が体験を手伝いました。児童は1束ずつ丁寧に稲を刈り取り、初めての作業に苦戦しながらも笑顔で取り組みました。体験後「楽しいけれど疲れた」「農家さんになってお米を作りたい」と話しました。



青木さんの話を聞く児童



## 04 NEWS

## 日の出町 小学生脱穀に挑戦

日の出町立平井小学校の5年生55人は10月20日、1年の稲作学習の締めくくりとして脱穀体験に挑戦しました。児童たちは、春の田植え、夏の生育観察、秋の稲刈りを通じて、稲作学習に取り組みました。

作業では、児童が稲を1束ずつ手に取り、江戸時代の農具「千歯扱き」や、竹の間に稲を挟んで穂を外す「箸扱き」を使いま

した。慣れない作業に悪戦苦闘しながらも、協力し合い30分かけて全体の4分の1にあたる稲を脱穀し、10キログラムの稲が採れました。



箸扱きで脱穀する児童



## 05 NEWS

規格外トウモロコシ使用  
コーンスープ新発売

10月20日、あきる野市と日の出町で収穫されたトウモロコシを使用した「コーンスープ」を販売開始しました。直売所では、トウモロコシが旬を迎える7月上旬から8月にかけて、トウモロコシを買い求める来店客で開店前から行列ができ大変にぎわいます。その一方で、出荷時に規格外となるものや売れ残るものが一定量発生しています。

JAでは農家の所得向上とフードロス削減の両立を目指し、これらのトウモロコシ約400キログラムを回収し、加工品として活用しました。

今回製造したコーンスープはレトルトタイプで、素材の甘みを生かした優しい味わいに仕上げました。トウモロコシの無い時期でも特産品をアピールできるプライベート商品として販売に力を入れていきます。

JAの直売所でお買い求めいただけます。



新商品のコーンスープ



○半紙の部 JAあきがわで金賞を受賞した皆さん (敬称略)

学年	氏名
小学校1年	師岡 未唯奈
小学校2年	大久保 汐織
小学校3年	谷合 奈々緒
小学校4年	天谷 汐里
小学校5年	川島 心花
小学校6年	小倉 純寧
中学校1年	根本 和奏
中学校2年	鈴木 彩姫
中学校3年	中里 明花

○条幅の部

学年	氏名
小学校1年	青木 紗奈
小学校2年	大久保 汐織
小学校3年	渡邊 勇樹
小学校4年	橋本 春優
小学校5年	千坂 葉音
小学校6年	今田 秀人
中学校1年	根本 和奏
中学校2年	小高 深結
中学校3年	中川 夢絆



書道展・ぬりえ展会場

書道コンクールに合わせて、「こどもぬりえ展」を開催しました。ぬりえはJA共済「アンパンマンぬりえ」を使用し、あきる野市、日の出町、檜原村の幼稚園・保育園に応募を呼びかけ8園が参加し、2歳児から6歳児までの401点の作品が集まりました。

また、会場の外ではガラポン抽選会を初めて行いました。景品は、1等アンパンマンボックスティッシュ、2等アンパンマンぬりえ、3等アンパンマン絆創膏で、来場した子どもたちに好評でした。

06 NEWS

JA共済「小・中学生書道コンクール・こどもぬりえ展」 同時開催



07 NEWS

年金友の会 グラウンドゴルフ大会



10月17、18日、本店で令和7年度JA共済「小・中学生書道コンクール」の展示会を開きました。同コンクールはJA管内在住・在学の小・中学生に共済事業の相互扶助・思いやりの精神を次代に伝えていくことと、児童・生徒の書写教育に貢献することを目的に毎年開催しています。

半紙の部・条幅の部、合わせて316点の応募があり、JAの審査会で金賞18点、銀賞19点、銅賞25点、佳作31点を選出しました。JAあきがわの金賞作品はJA共済連東京都本部で審査が行われ、6点が入賞しました。

10月23日、小和田グラウンドゴルフ大会で第11回JAあきがわ年金友の会グラウンドゴルフ大会を開きました。会員の親睦と健康増進を目的に毎年開催しています。

当日は9地区の代表18チーム134人が参加し、プレーを楽しみました。

優勝は多西Aチーム、準優勝は戸倉・小宮Aチーム、3位は西秋留Bチームでした。個人ではホルインワン賞を19人が受賞しました。選手の最高齢は95歳で、大会当日の年齢が満88歳以上の参加者19人に、組合長賞が贈られました。



檜原地区代表による選手宣誓



プレーに熱中する選手の皆さん





08 NEWS

東京都農業祭  
共進会・産物の部

10月24、25日の2日間、東京国際フォーラムで「第54回東京都農業祭」が開かれ、都内全域から858点の農畜産物が出品されました。JAあきがわは、46点出品し、優秀賞1点、優良賞10点が入賞しました。



審査中の会場

12



09 NEWS

## 日の出町産業まつり

10月25、26日に日の出町産業まつりが行われ、JAはお米、味噌、コーンスープなどの経済商品を販売しました。  
青壮年部は日の出町農業振興会と協力し、花・野菜の宝船を作りました。産業まつり2日目に宝分け販売を行い、売上金を同町社会福祉協議会を通して日本赤十字社へ寄付しました。

3



10 NEWS

## あきる野市産業祭

11月8、9日にあきる野市産業祭が行われ、JAは地場産の野菜や花き・植木、青森県産ごぼう、果物、お茶、味噌、農機などの経済商品を販売しました。  
お米は、JA新みやぎの「志波姫米」を宮城県栗原市の志波姫環境保全米栽培協議会の生産者が販売しました。  
青壮年部は、あきる野市農業振興会と協力し、花・野菜の宝船を作りました。9日に使用した野菜と花を宝分け販売し、売上金を、同市社会福祉協議会へ寄付しました。

3



賞	種類	品種	氏名
優秀賞	キュウリ	ニーナZ	大福 保男
優良賞	黒ニンニク	レンギ種6片	山上 登
	ニンニク	レンギ種6片	山上 登
	ショウガ	三州	小澤 章男
	ピーマン	京ひかり	嶋崎 三雄
	大玉トマト	麗月	宮崎 恒雄
	ミニトマト	トマトベリーオペラ	大福 哲也
	ナス	筑陽	大福 哲也
	ナス	ビステッカ	大福 哲也
	烏骨鶏卵	東京うこっけい	松尾 雄治
	烏骨鶏卵	東京うこっけい	内倉 雅美



行列ができた宝分け販売



完成した宝船



青壮年部による花・野菜の宝船



JAコーナー



人気の宝分け販売



農産物直売コーナー





テラスで開催したイベント



店舗裏の駐車場



**11 NEWS** **日の出支店ブランドオープン**

日の出支店は11月17日、旧店舗跡地の駐車場整備が完了し、ブランドオープンしました。駐車場はバリアフリーで店舗までいけるスロープを設け、会議室前にはテラスを新設しました。オープンを記念し、17日から21日までの5日間、来店者先着40名に花苗をプレゼントしました。また、21、22日の2日間は支店会議室で「装いフェスタ2025」を開催し、医療器具や羽毛布団などの展示販売やお茶・味噌の試飲販売、ガラポン抽選会を行いました。家族連れや長年の利用者など幅広い層のお客様が来場し、新店舗の盛況な門出となりました。



収穫を喜ぶ参加者

**12 NEWS** **あぐりスクール 修了式**

11月22日、秋川ファーマーズセンターに隣接する市民農園で、第8回あぐりスクールを開きました。今回が最終回で7家族23人が参加しました。あぐりスクールは3月から11月まで8回開催し、11種類の野菜を栽培しました。最終回は9月に植付けや種まきをした、ダイコン、ハクサイ、ブロッコリー、ホウレンソウなど7種類の野菜を収穫しました。収穫後に、岡田正則専務より子ども達に修了証が手渡されました。



## JA インフォメーション

イチ押し商品



加幡 浩美

コスモ食品の直火焼ルー「レトルトシリーズ」に新商品ができました。

- ・銀のクリームシチュー
- ・黒毛和牛のビーフシチュー

電子レンジにも対応しているので簡単に食べられます。

## 五日市経済センター あいな



黒毛和牛のビーフシチュー 567円(税込)



銀のクリームシチュー 473円(税込)